
ARIA ~ The each music ~

紫藤 蓮見

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

A R I A ～ The e a c h m u s i c ～

【Nコード】

N 5 3 2 4 D

【作者名】

紫藤 蓮見

【あらすじ】

ネオ・ヴェネツィアでのユウラ（オリジナルキャラ）の人々との出会いと穏やかな生活。少し音楽の話も（できたらいいな）。

一話（前書き）

A R I Aの二次創作です。

アニメを見て癒された人間です。マンガ持ってません。世界観が少しずれるかも（故意ではないです）。

男オリキャラが主人公。

以上のことがいやな人、見ることをおすすめません。

一話

ネオ・ヴェネツィア。広い海と高い空を持ち、季節ごとに様々なお祭りの開かれ、多くの観光地が存在する、芸術の町だ。

ユウラ・クライヴは二年ぶりにこの地に訪れた。

宿泊先のフラットにあまり大きくない旅行バッグと肩に掛けた楽器ケースを置き、ユウラは一本の電話をかける。

「はい、アリアカンパニーです」

「……えーと、アリスアさんじゃありませんよね……」

「……ほへ？」

みずなし あかり

水無灯里は電話の主の第一声に疑問の声を上げた。聞くところによると、電話の彼は自分がA R I Aカンパニーに来る前アリスアさんの交友のあった人物で、新しい見習いの声に少しとまどったのだそうだ。

「すみません。アリスアさん今日は予約いっぱい、お名前お聞きしてもいいですか？」

「ユウラ・クライヴといいます。よろしく」

「ユウラさん……じゃあ、アリスアさんが帰ってきたら伝えますね」

「あ、いや忙しいようなのでいいですから」

そう言うと、ユウラさんは電話を切った。それにしてもユウラ・クライヴどこかで聞いた名だ。

すると大事なことに気がつく、

「はわわわ、連絡先聞くの忘れてしまいましたよアリア社長！どうしょ〜」

「ぷいにゅ」

残念だな。ユウラは電話を置き、これからどうしようかと考え始める。超絶的幸運でアリシアさんの水先案内を飛び入りで受けられるのが一番よかったのだが、かなり無理があつたようだ。町の散策でもしようか。

水と芸術の町ネオ・ヴェネツィアにユウラは足を踏み出した。

一話（後書き）

更新かなり遅くなると思います。文章稚拙ですいません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5324d/>

ARIA ~ The each music ~

2010年10月10日13時10分発行